

鈴木ひとみ市政報告

ごあいさつ 今年もかなり暑く長い夏になりそうです。梅雨が短く雨が少なかったので、水不足やコメの生育不良も心配されます。一方、場所によっては集中豪雨が発生し、異常気象が激化して、これまで経験したことのないような大型

台風が日本を襲う可能性も指摘されています。安心して、心地よく暮らせる地球環境を次の世代に残すことが、私たち大人の課題ではないでしょうか。身の回りの小さなことでも、できることから「地球にやさしい暮らし」を始めましょう。

令和7年6月市議会定例会 一般通告質問から

国道の整備とフラワーライン 周辺の施設整備について

観光地としてこの地域を どう作っていくか、県との話し合いを

現在のフラワーライン(平砂浦あたり)は、花はなく草が伸び放題です。毎年夏の間に行われていたマリーゴールドの植栽は、今年も行われません。県から市に対して、海側の植栽の撤去が打診されています。

フラワーライン、国道410号は県の管轄です。この状況を改善し、安全確保と観光地としての景観整備のため、市から県に積極的に働きかけを行って欲しいと思います。

知事は館山を含む安房地域のポテンシャルの高さをいつも強調されます。必要な予算の確保も含め、この地域の観光地としての価値をどう作っていくか、市と県が話し合うことを求めます。



砂と雑草に埋もれたフラワーライン歩道



植栽が行われていない歩道脇の花壇



砂に埋れたフラワーライン歩道

国道410号は、道の両脇から木の枝が覆いかかり、バスなどの大型車は避けるためにカーブを大回りし、危険な状況が続いていました。地元区長会から繰り返し要望が出され、草刈りと枝の伐採が進められていますが、館山運動公園近くの切割付近では枝の落下、倒木の危険がまだ解消されていません。館山バイパス沿いでは道の両側、中央分離帯で草が繁茂し見通しが悪くなるなど、安全走行の妨げにもなっています。

アロハガーデンが閉園になった後、駐車場とトイレも閉鎖されています。近くにあるRE CAMP館山脇の公衆トイレも、白アリ被害で倒壊の危険があるため、使用禁止となっています。アロハガーデンの駐車場を利用していたサーファーや釣り人の中には他の海岸へ移動した人たちが多くいると考えられます。

市はラン&ウォークの平砂浦コースを設置していますが、駐車場もトイレもないので活用は難しい状況です。

アロハガーデンの現在の所有者と交渉して、駐車場とトイレだけでも使用できるようにすべきと考えます。アロハガーデンは館山市にとって貴重な観光施設であり、希少な植物もありました。放置する期間が長くなれば荒廃も進みます。早く次の担い手が見つかるよう、市も努力して欲しいと思います。



木の枝が道路に覆いかかる国道410号線



今年の3月で閉園になったアロハガーデン